

第4回 公共交通を考えるワークショップ

アンケート調査結果（速報版）
【引田・代継・網代区域（引田・渚上・代継）】

引田・代継・網代区域（引田・渚上・代継）においては、平成30年12月14日～12月25日の期間において、性別、年齢を考慮して無作為抽出した532世帯を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケート調査結果（速報版）では、平成31年1月7日までに回収した調査票を対象に集計した結果をお示ししています。

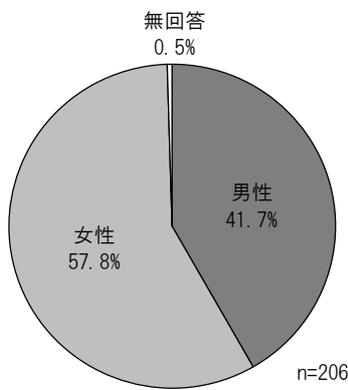
自由意見を含めた最終的な結果については、今後市ホームページにて公表する予定です。

配布数：532 回収数：206 回収率：38.7%（1月7日現在）

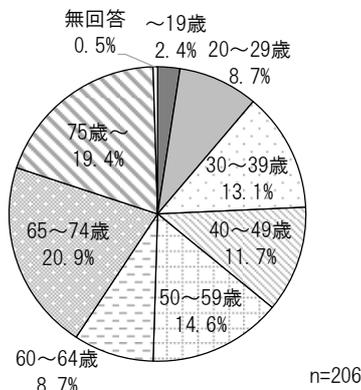
※ 端数処理により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

回答者属性

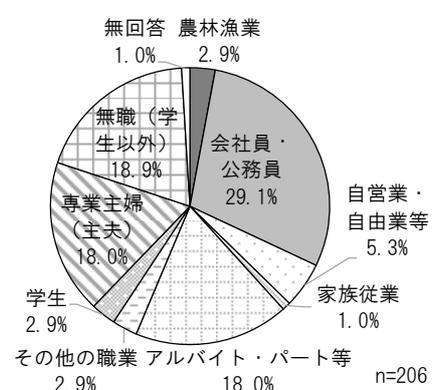
問1 性別



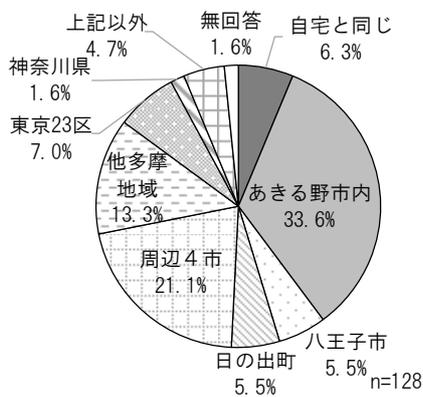
問2 年齢



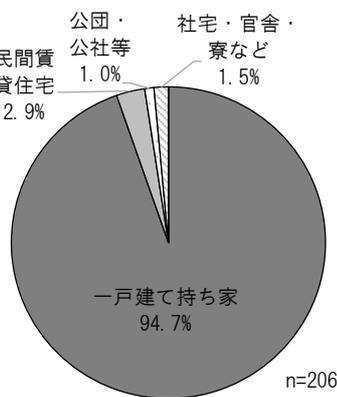
問3 職業



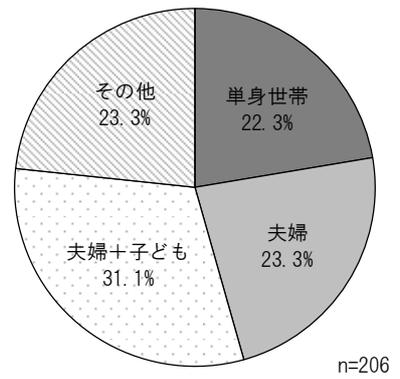
問3-1 通勤・通学場所



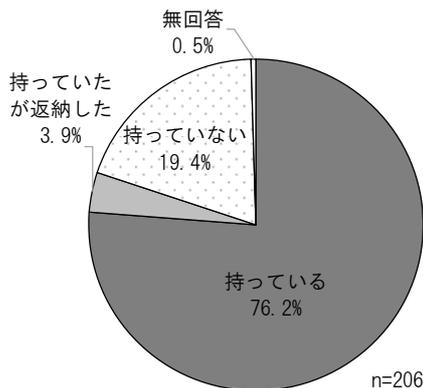
問4 住宅の種類



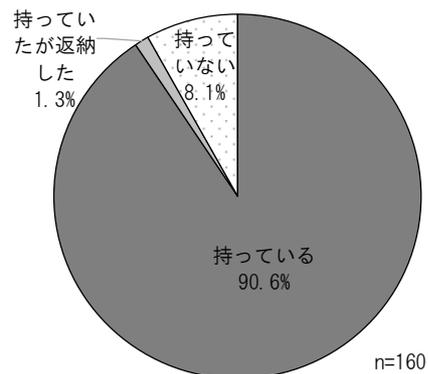
問5 世帯構成



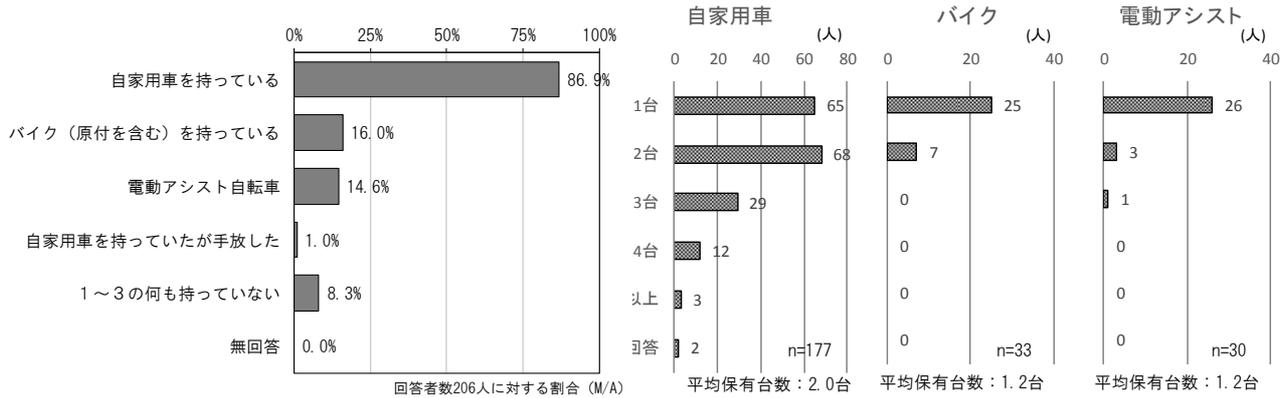
問6 回答者ご本人の運転免許保有有無



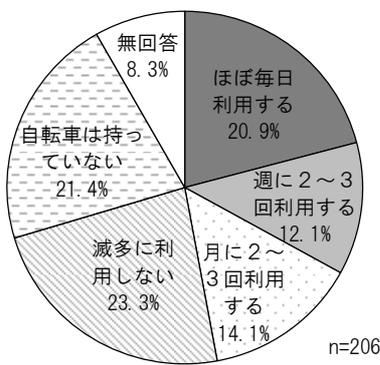
問7 同居されているご家族の運転免許保有有無



問8 自家用車等保有状況



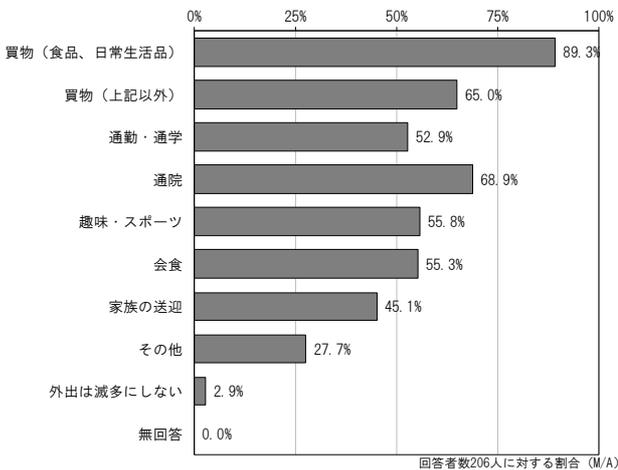
問9 自転車の利用状況



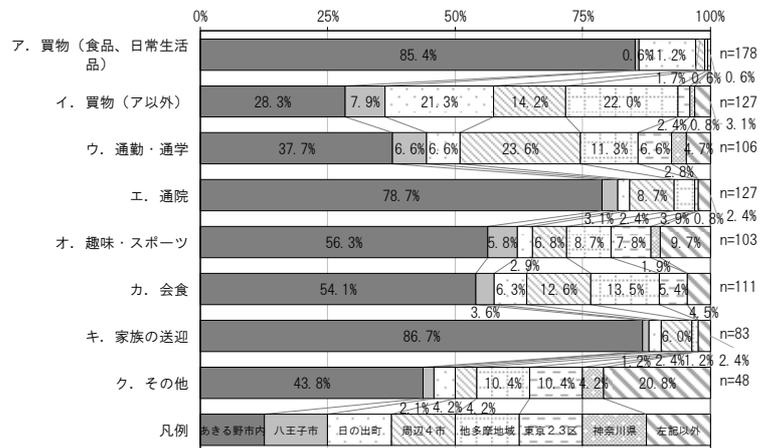
日常の外出について

- ・外出目的では「買物（食品、日用品）」が89.3%で最も多いが、他の目的についてもほとんどが50%を超える。
- ・外出の目的地では、いずれの目的もあきる野市内が1位であるが、「買物（ア以外）」では他多摩地域や日の出町、「通勤・通学」では周辺4市（昭島市・福生市・羽村市・青梅市）が20%以上あり、他の目的と比べても多い。
- ・いずれの外出目的においても、主たる交通手段は「自家用車（自分で運転）」である。
- ・「買物（食品、日用品）」については、8割弱の人が週2～3日かそれ以上の頻度で外出している。

問10 普段外出する目的

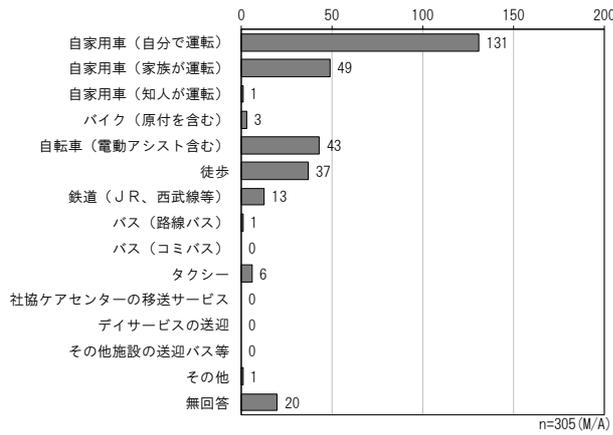


問10-1A 外出の目的地

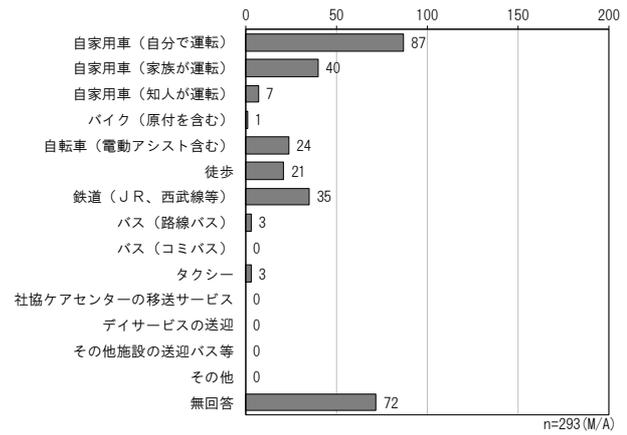


問 10-B 外出時の利用交通手段

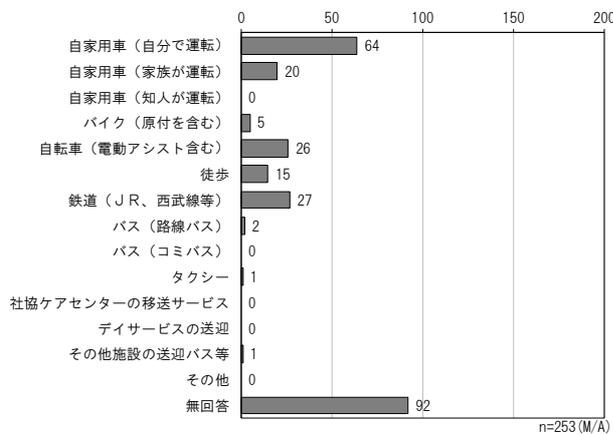
ア. 買物（食品、日常生活品）



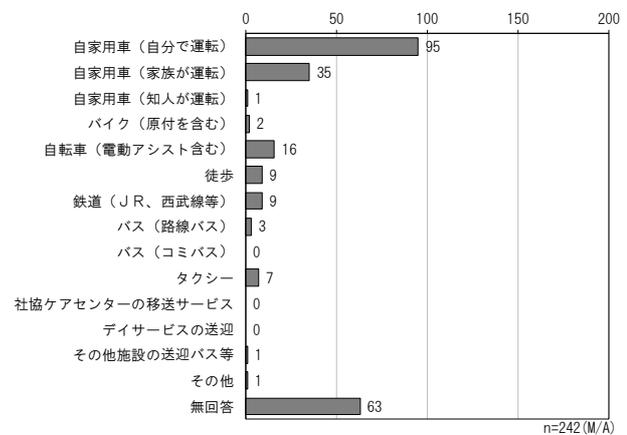
イ. 買物（ア以外）



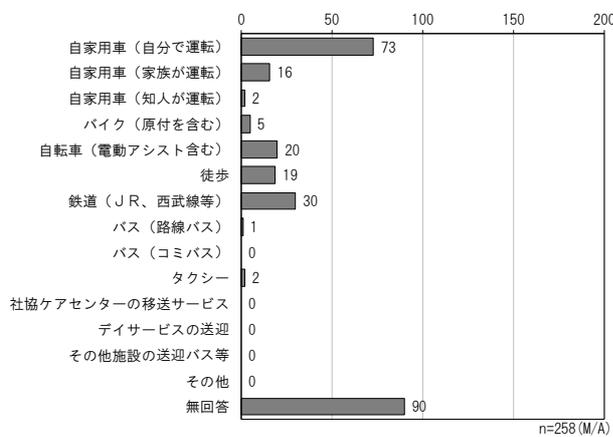
ウ. 通勤・通学



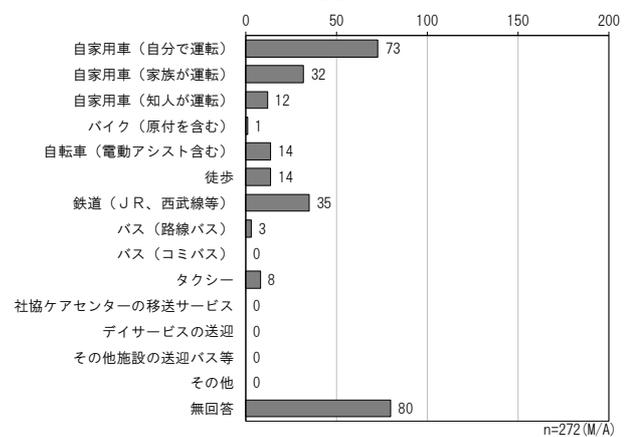
エ. 通院



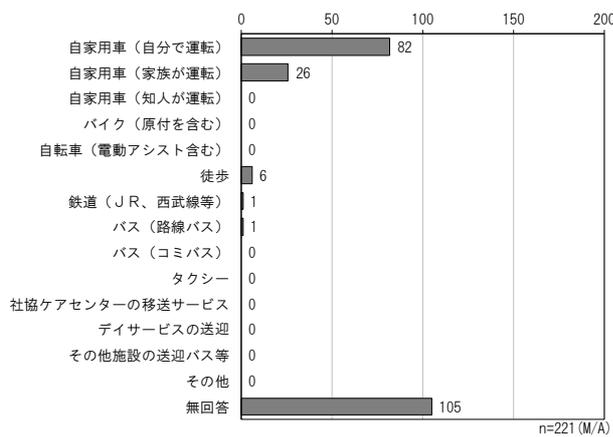
オ. 趣味・スポーツ



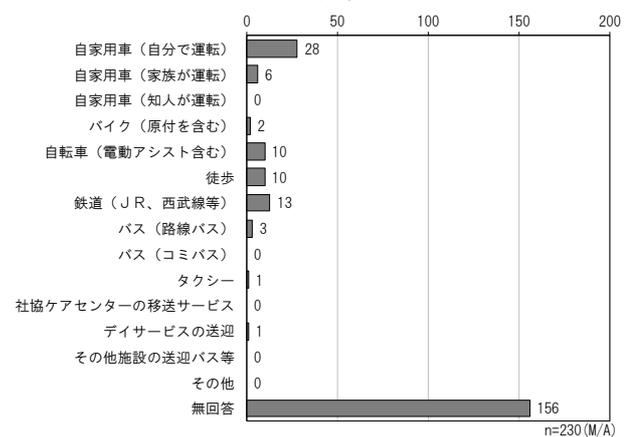
カ. 会食



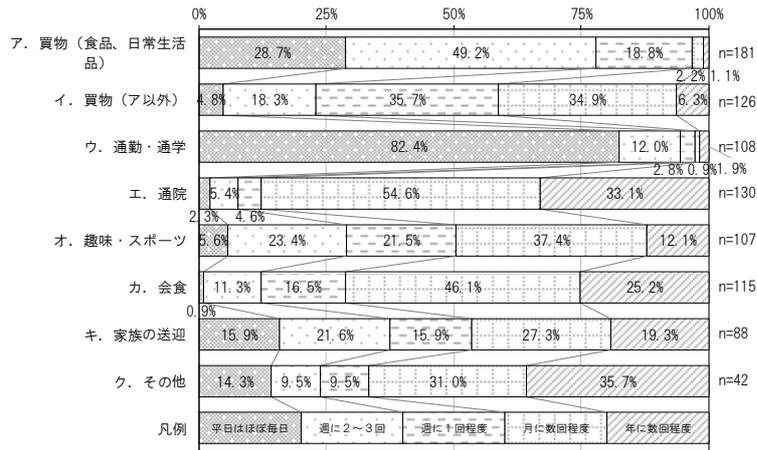
キ. 家族の送迎



ク. その他



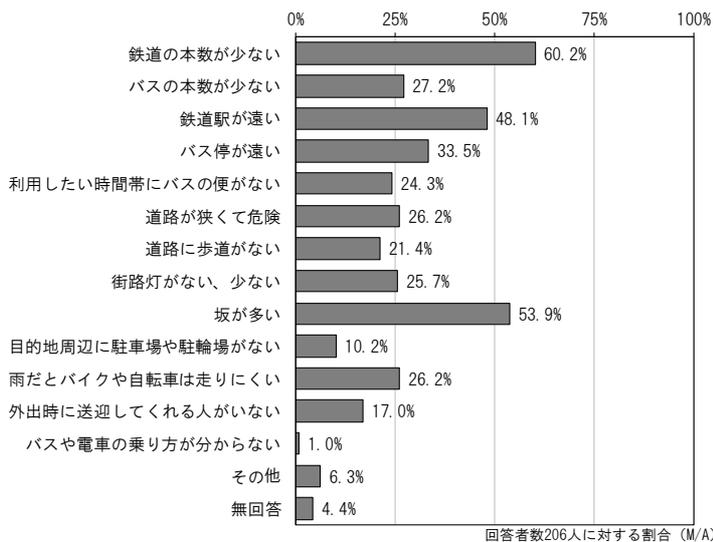
問10-C 外出頻度



普段交通でお困りのことについて

問11 交通に関して困っていること

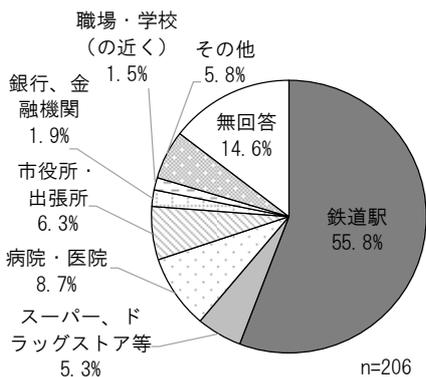
・「鉄道の本数が少ない」が60.2%で最も指摘率が高く、次いで「坂が多い」53.9%、「鉄道駅が遠い」48.1%の3つの指摘率が高い。



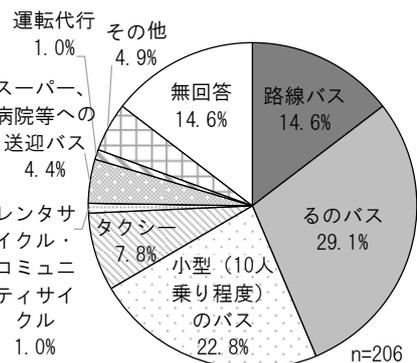
公共交通に対するご期待・ご要望

・公共交通で行きたいところは「鉄道駅」が55.8%で半数を超え、その際の交通としては「るのバス」29.1%、「小型（10人乗り程度）のバス」22.8%が多い。

問12 公共交通で行きたいところ

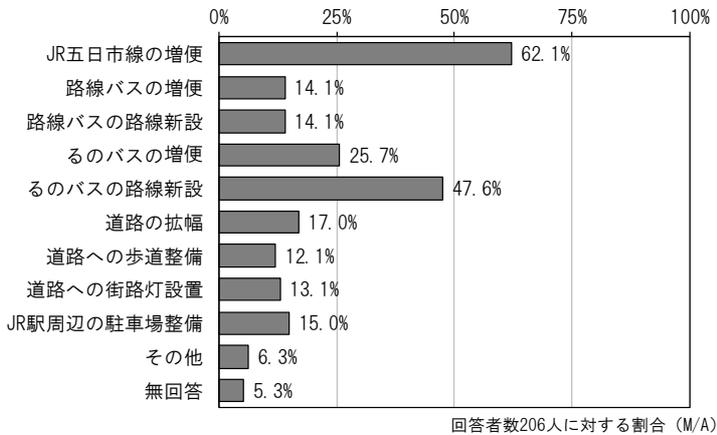


問13 問12の目的地へ行く交通



問 14 求められる交通整備

・「JR 五日市線の増便」が 62.1%で最も指摘率が高く、次いで「るのバスの路線新設」47.6%の指摘率が高い。



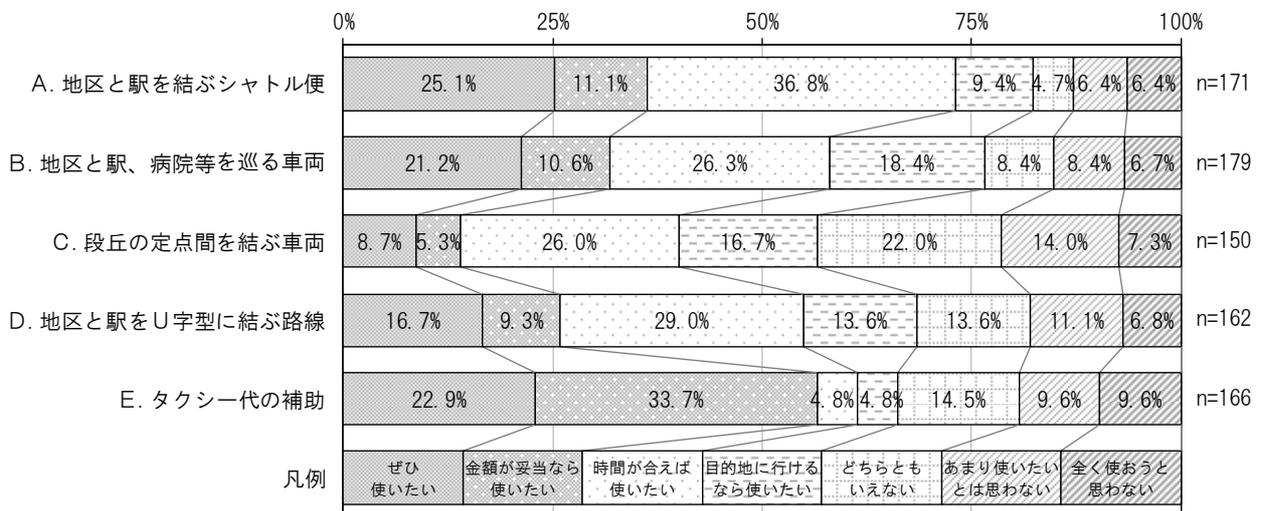
ワークショップで出た公共交通の方向性に対するご意見

問 15 各公共交通サービス候補に対する利用意向

・「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」を合わせて、「使いたい」とする割合は、いずれのサービス候補でも 60%を超える。

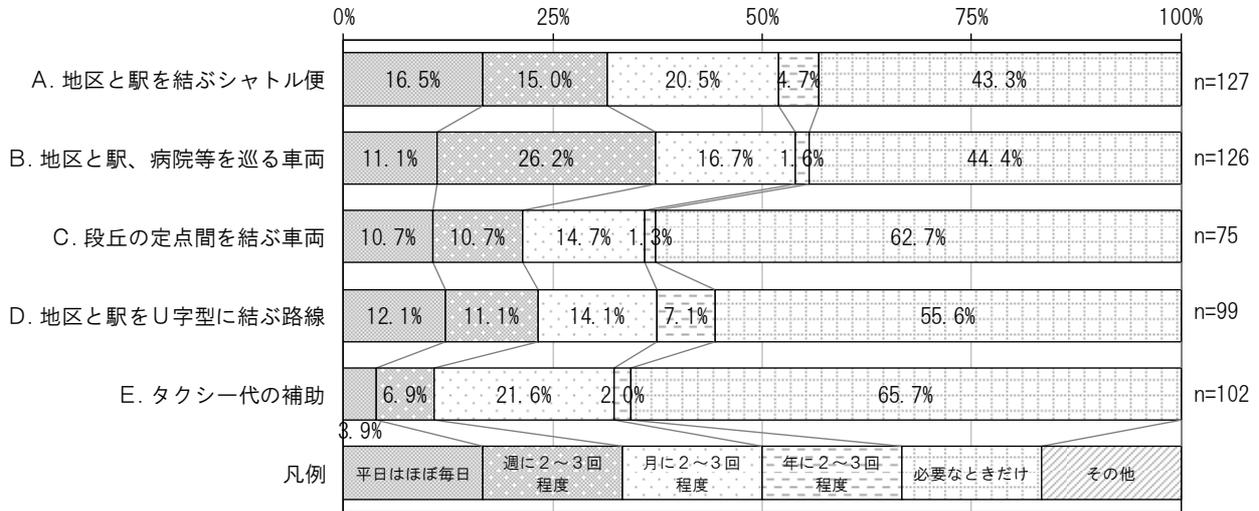
・「使いたい」の割合が最も高いのは「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」82.4%であり、次いで「B. 地区と駅、病院等を巡る車両」76.5%が高い。

・これらのうち、「ぜひ使いたい」とする割合が一番高いのも、「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」の 25.1%である。



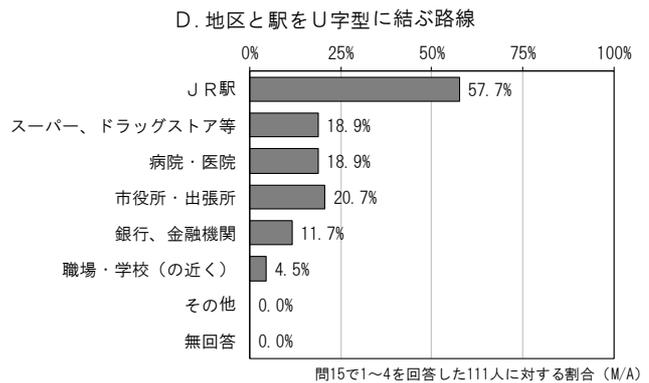
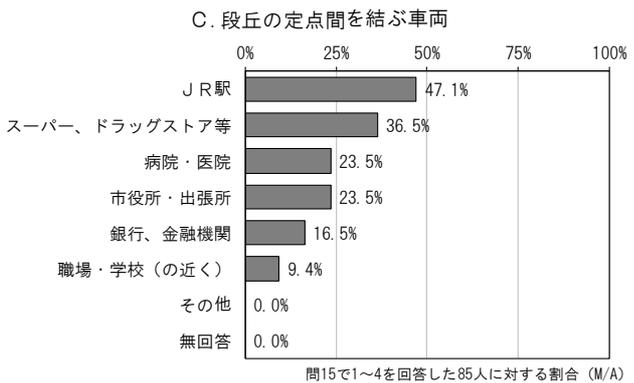
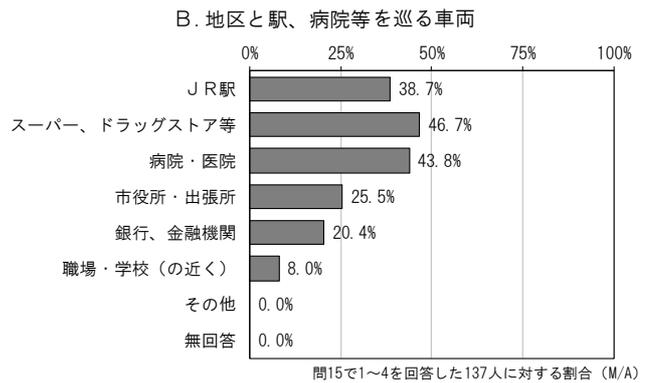
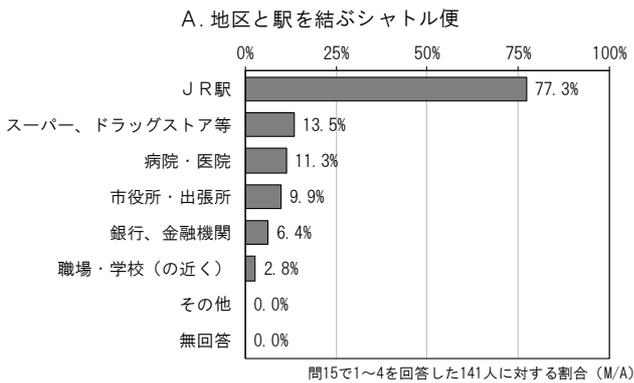
問 15-1 各公共交通サービス候補に対する利用頻度

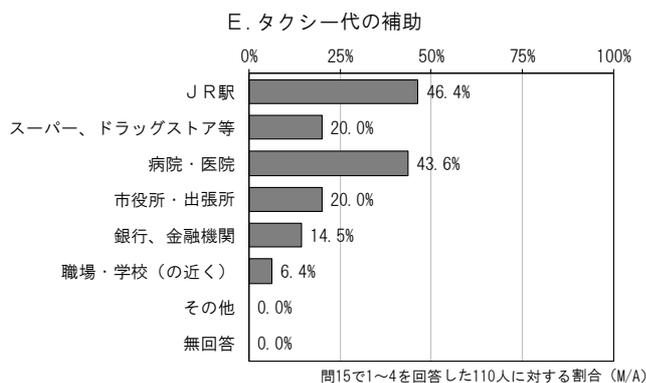
・「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」～「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線」は「週2～3回」以上利用したい人の割合が20%以上であり、とくに「B. 地区と駅、病院等を巡る車両」「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」は30%を超えている。



問 15-2 各公共交通サービス候補を使って行きたいところ

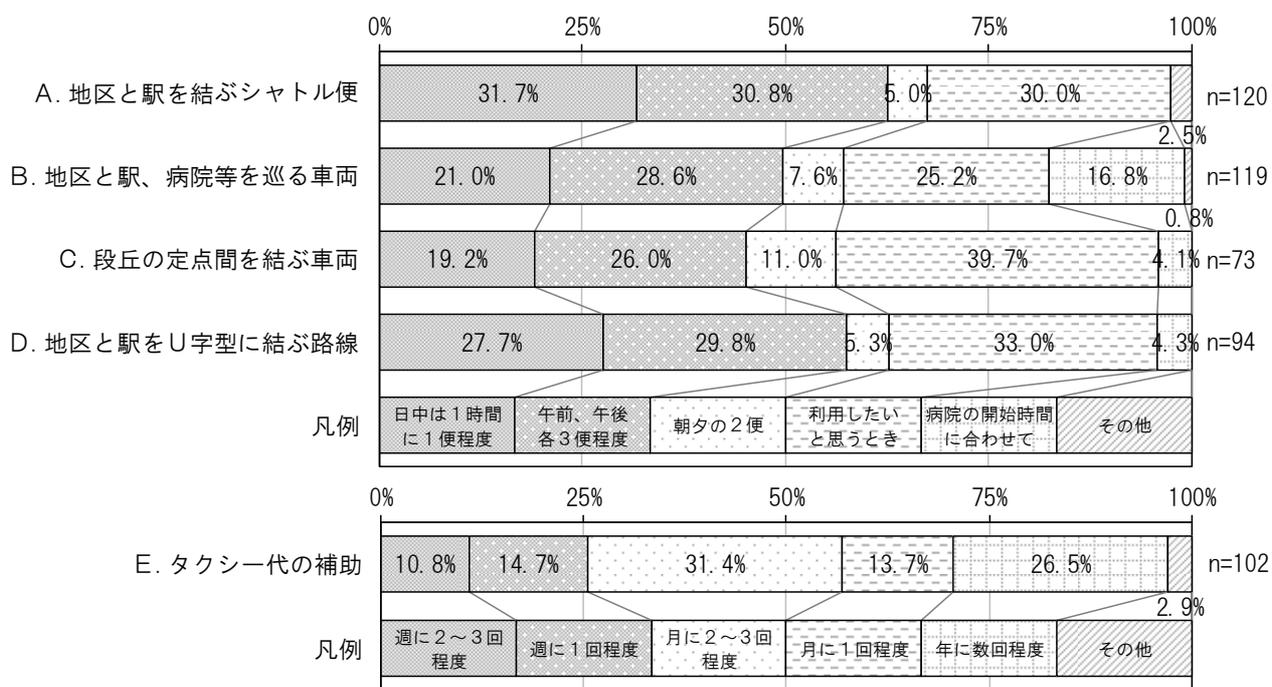
・「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」「C. 段丘の定点間を結ぶ車両」「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線」「E. タクシー代の補助」は、いずれも「JR駅」が最多となっており、「B. 地区と駅、病院等を巡る車両」は、「スーパー、ドラッグストア等」が最多となっている。
 ・「E. タクシー代の補助」では、「JR駅」に次いで「病院・医院」とする回答が多い。





問 15-3 各公共交通サービス候補に求める運行頻度

・「日中は1時間に1便程度」についてみると、「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」が31.7%で最も多く、次いで「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線」27.7%が多い。
 ・「B. 地区と駅、病院等を巡る車両」については、「午前、午後各3便程度」が28.6%で最も多い。
 ・「E. タクシー代の補助」については他と選択肢が異なるため比較はできないが、「月に2~3回程度」が31.4%で最も多い。



問 15-4 各公共交通サービス候補の料金設定

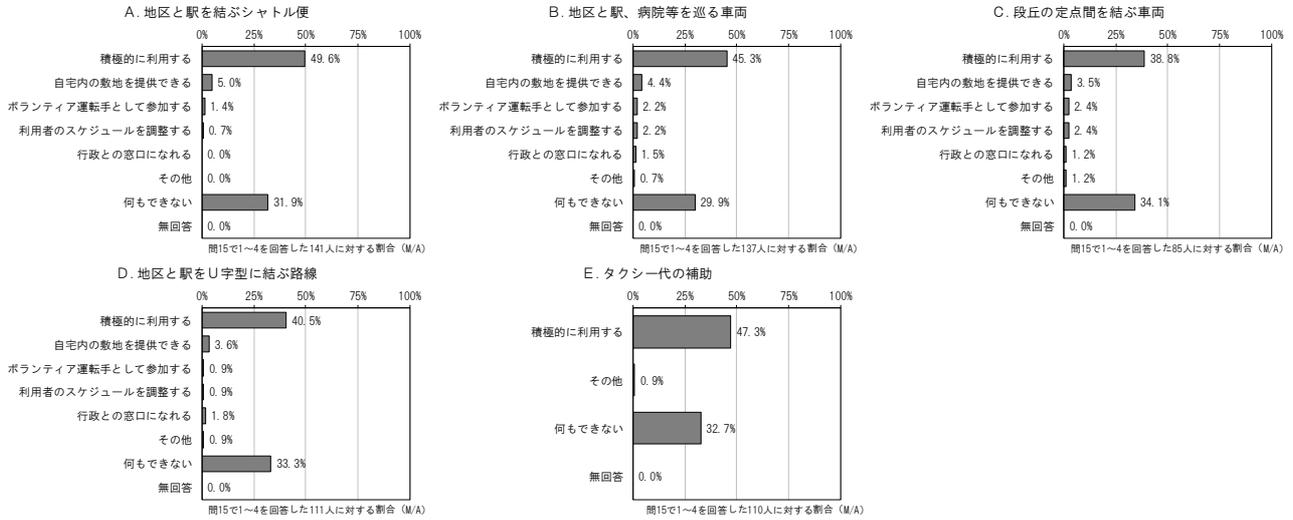
・各公共交通サービス候補の料金設定について平均を算出すると、「A. 地区と駅を結ぶシャトル便」171円、「B. 地区と駅、病院、スーパーなどを巡る車両」179円、「C. 段丘の定点間を結ぶ車両」155円、「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両」173円、「E. タクシー代の補助」583円となった。

単位：円

公共交通サービスの候補	ぜひ使いたい	条件付き			全希望者
		金額が妥当	に使用したい時間	ろりに行きたいところ	
A. 地区と駅を結ぶシャトル便	150	165	183	187	171
B. 地区と駅、病院、スーパーなどを巡る車両	170	197	185	168	179
C. 段丘の定点間を結ぶ車両	178	143	162	130	155
D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両	167	204	171	160	173
E. タクシー代の補助	578	568	444	883	583

問 15-5 各公共交通サービス候補に対する支援

・いずれのサービス候補も「積極的に利用する」という人が40%前後で最も多い。
 ・「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」～「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線」については、複数の方から「自宅の敷地を提供できる」という回答があった。



問 15-6 各公共交通サービス候補を利用しない理由

・いずれのサービス候補も「自家用車で十分だから」の割合が最も高く、とくに「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」「B. 地区と駅、病院等を巡る車両」についてはいずれも70%を超えている。
 ・「自家用車で十分だから」に次いで、「C. 段丘の定点間を結ぶ車両」の「時間が合わなそうだから」25.0%、「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線」の「時間がかかりそうだから」29.4%、「E. タクシー代の補助」の「別途料金がかかるから」35.3%も他のサービス候補と比べると多い。

